



かわさき市政だより 幸区版

発行：幸区役所 〒212-8570 幸区戸手本町 1-11-1

☎ 556-6666 (総合案内)

さいわい

幸区
シンボルマーク

幸区統計データ (平成31年3月1日現在)
 人口 16万7,537人 2019(平成31)年
 世帯数 7万9,621世帯 4月1日発行

4 月号

移りゆく さいわい 平成を振り返る

川崎駅西口、鹿島田・新川崎駅周辺をはじめ、区の街並みは平成の時代に大きな変化を遂げてきました。それに伴い、人口も徐々に増加し、区はにぎわいを見せています。平成最後の市政だより幸区版では、区の変遷をたどります。

問 区役所企画課
 ☎556-6612 FAX555-3130



鹿島田・新川崎駅周辺の大規模マンションの建設などにより、転入者が増加

平成27(2015)年



免震構造や非常用発電設備など、防災拠点としての機能を備えた区役所新庁舎

平成18(2006)年



駅直結というアクセスの良さから、平日でも多くの来場者でにぎわうラゾーナ川崎プラザ

平成16(2004)年



世界有数の音響を誇るミュージア川崎シンフォニーホール

平成7(1995)年



明治製菓川崎工場跡地に建てられたソリッドスクエア

平成24(2012)年



区制40周年を記念し、区の花・区の木を制定

工場移転・廃止などにより人口減少

平成4(1992)年



夢見ヶ崎動物公園にレッサーパンダが仲間入り(写真は現在園で暮らすファファ)

平成5(1993)年



区制20周年を記念し、シンボルマークを制定

平成31(2019)年度 地域課題対応事業

今年度の事業の取り組みを予算額とともに紹介します。

取り組み	主な内容	予算額
○地域資源を生かした取り組み	・御幸公園での梅林の復活 ・活動団体などと連携した「ゆめみらい交流会」の開催による魅力発信 など	9事業 約2,688万円
○健康で安心して暮らすために	・地域住民が主体となった声掛けや見守り活動の推進 ・健康・福祉に関する講座の開催や情報誌の発行 など	6事業 約844万円
○子どもと子育てを支える取り組み	・区内の子育て支援団体・機関同士の情報共有や連携の強化 ・情報誌「おこさまっぴさいわい」の発行や子育て支援講座 など	6事業 約842万円
○地域コミュニティの活性化	・町内会・自治会の加入促進 ・地域スポーツやパラスポーツの振興に向けたイベントの開催 など	6事業 約571万円
○安全で安心して暮らすために	・実践的な総合防災訓練や、避難所開設・運営訓練の実施 ・交通安全教室の開催や、「ながらスマホ」による事故防止に向けた啓発活動 など	5事業 約917万円
○区民への情報発信など	・「さいわい広報特別号」の発行 など	2事業 約109万円
○区の新たな課題即応事業	・区の機能強化に向けた取り組み	1事業 500万円
○その他	・地域の課題解決を図る「提案型協働推進事業」の実施 など	2事業 約276万円
総額		約6,747万円